

ロックガーデン造成工事

須田 泰夫

○概要 本工事は、おもに高山植物（一部低山性植物を含む）を植栽する区域を設けるために行われた。設計、施工にあたっては、東京大学理学部附属植物園日光分園、神奈川県立フラワーセンター大船植物園、箱根町立箱根湿生花園、(財)兵庫県フラワーセンター協会淡路ファームパークなどを見学したが、気候、地形などがそれぞれ異なり、そのまま取り入れることは困難であった。そこで、地下部分に水が停滞しないよう、排水構造には万全を期した。

○工事期間 1985年2月～4月

○場所 園内のため池に面したアカマツ林の一部を伐開した。ツツジ・シャクナゲ園と隣接している。

○規模 面積約800㎡(透水層施工部分は456.1㎡)。南北約60m、東西約20m、比高6mの東向きの傾斜地になっている。

○造成 もとの地形に合わせ、等高線沿いに階段状の造成をし、併せて園路の取り付けを行った。各段差は50cmとした。

○排水 造成後の各段に透水管を設置し、碎石(クラッシャーランC-40)を平均50cmの厚さに敷均して透水層とした(図1、2)。

○灌水 噴霧装置を39基備えた(図1)。この装置は球面自在接手によりノズルの向きを変えられるものとした。

○岩石 花崗岩(広島県千代田町、向原町産)約300t。

○用土 日向土、富士砂、花崗岩礫。



ウォールの石積み

表1 区 分

凡 例	名 称	数 量	備 考
Ⓐ	ロッケリー(A)	20㎡	景石の量(単位面積当り) ロッケリー(A)>(B)>(C)
Ⓑ	「 (B)	150㎡	
Ⓒ	「 (C)	92㎡	
■	ウォール	39m	野面石の空積み、天巾60cm
□	池(滝)	11㎡	水中ポンプにより循環
—	園路	168㎡	アスファルト舗装、野面石段巾1.2m
	その他	約300㎡	周辺植栽地など
全 体 面 積			約800㎡

表2 設 備

凡 例	名 称	数 量	備 考
■	散水栓	5基	上水、井水切換可
●	噴霧装置	39基	シュベリアルノズルSP-8 (散水直径5.6m) 球面自在接手RBS-20P 地上部立ち上がり50cm
▣	自動排水弁 (噴霧装置管系)	3基	ADV-15
Ⓐ	水中ポンプ	1台	50m/m×200l/min×6m ×0.4kW 操作盤

表3 透水層施工部分(456.1㎡)

透水管 (図1、破線)	420m (延長)	ネオドレーンSD65A 造成地盤の各段に埋設
透 水 層 (碎 石)	厚 50cm (平均)	クラッシャーランC-40 " C-20



用土の敷き込み

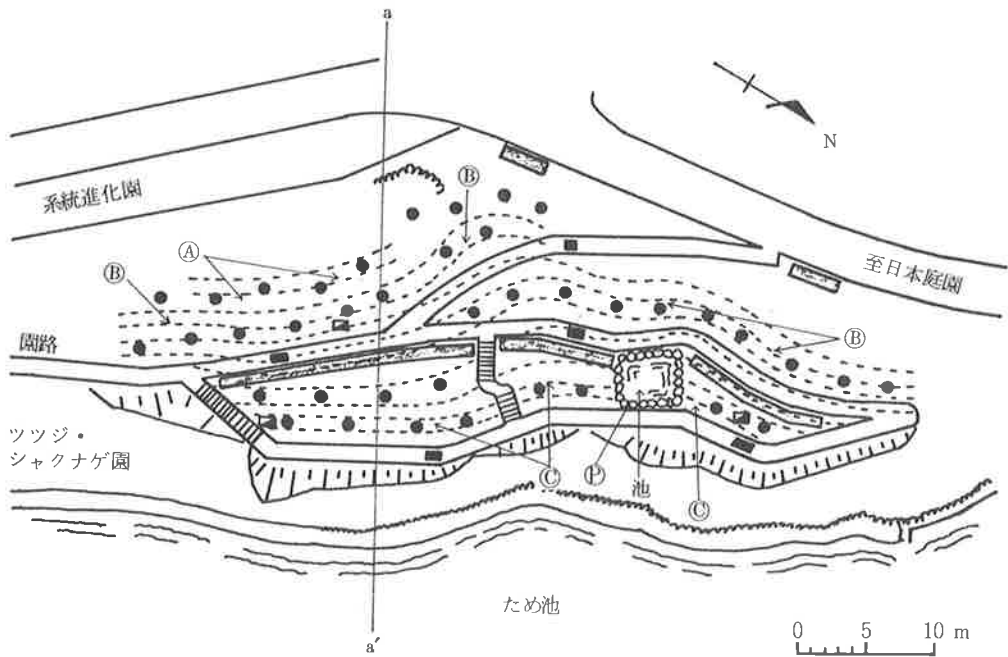


図1 平面図

表 1, 2, 3 参照。破線(---)は透水管設置位置を示す。

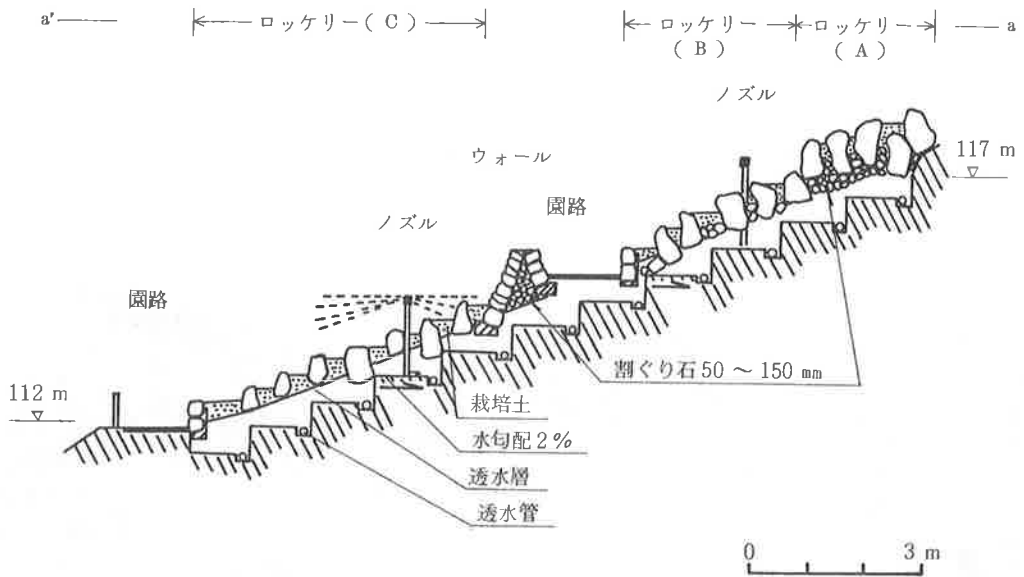


図2 横断面図(図1 a-a')

表 3 参照